

毎日放送Dスタジオ

スタジオ照明設備 No.30



MARUMO ELECTRIC CO., LTD.

TVドラマが改めて注目されている時代の今

全神経をドラマ作りに集中するために

セットの転換からセット内の行灯(あんどん)の点灯にいたるまで、すべての調光と吊物昇降の簡素化、高能率化して——Dスタジオはドラマ専用のスタジオとして設計されています。



調光室

毎日放送Dスタジオ

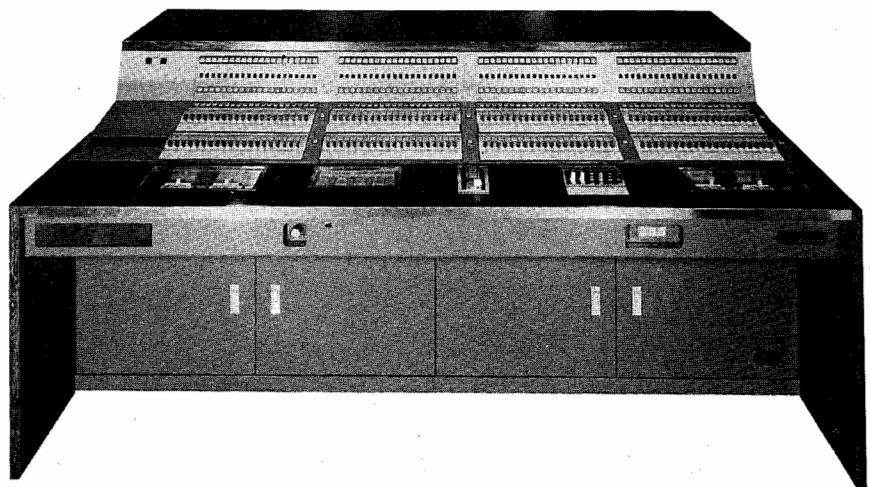
吹田市千里丘北1-1

スタジオ床面積	420 m ²
グリッド高さ	9m
負荷回路	30 A 202回路 60 A 54回路

調光設備

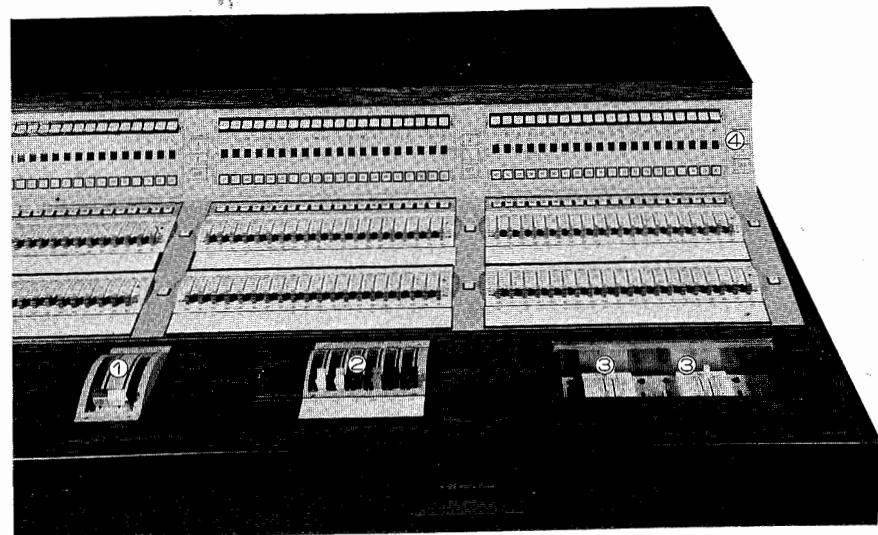
照明操作卓

プリセットフェーダー	80本×2段
グループフェーダー	6本
グループクロスフェーダー	4組
マスタークロスフェーダー	1組
PFG選択SW	1式
PFGSW	80個
PFG表示器(デジタル表示)	80個
回路SW(L-off-D)	80個
電子クロスバー 選択操作盤	
フェーダー側選択押釦SW表示灯付1式	
負荷側押釦SW	256個
電子クロスバーラック	
(負荷側256回路×フェーダー側80本)	
×2場面記憶式	
サイリスター調光器盤	
30 A	202台
60 A	54台



照明操作卓

Dスタジオの照明操作卓



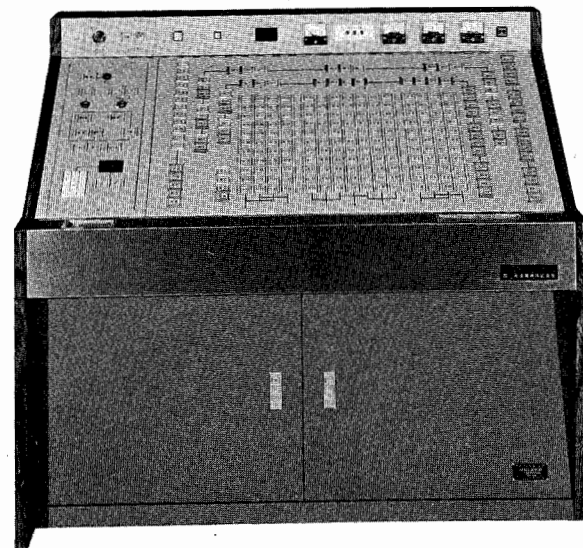
- ①マスタークロスフェーダー
- ②グループフェーダー
- ③グループクロスフェーダー
- ④クロスバー実行場面切替押しSW

Dスタジオの照明操作卓はTVドラマ専用スタジオ用として、マスタークロスフェーダーの下に、グループクロスフェーダーが4本あり、それぞれのグループクロスフェーダーに電子クロスバーA・B2場面のいずれにも自由にコネクション出来るようになっています。これによって、たとえばスタジオ内に作られた複数のセットのそれぞれの場面の配光や調光を同時にスムーズに行うことができます。(同一負荷がある時はフェーダー出力の高い方が優先します)

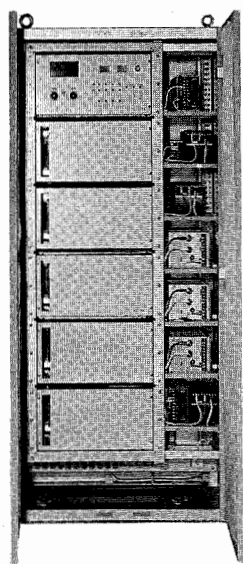
クロスバー実行場面切替押しSW A・Bの他にOFF・SWがついていますので、グループごとのブラックアウト(B・O)が出来ます

スタジオ内グループコンセント

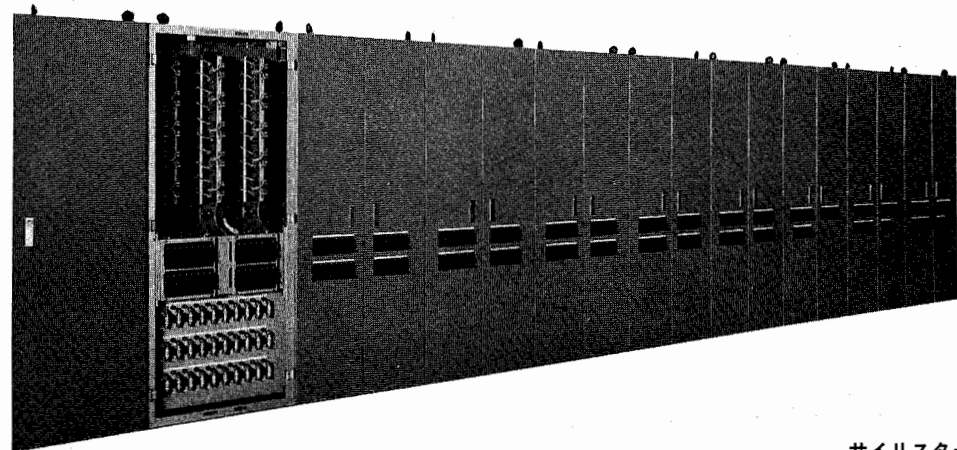
照明操作卓のグループフェーダーNo.4, 5, 6, はスタジオ内コンセントと直結しています。したがってセット内の電灯や行灯など、灯入れの回路をグループコンセントに接続しておけば、グループフェーダーにあらかじめ仕込んだレベルでセット内の電灯や行灯などを演技者によって点灯することができます。



電子クロスバー選択操作盤

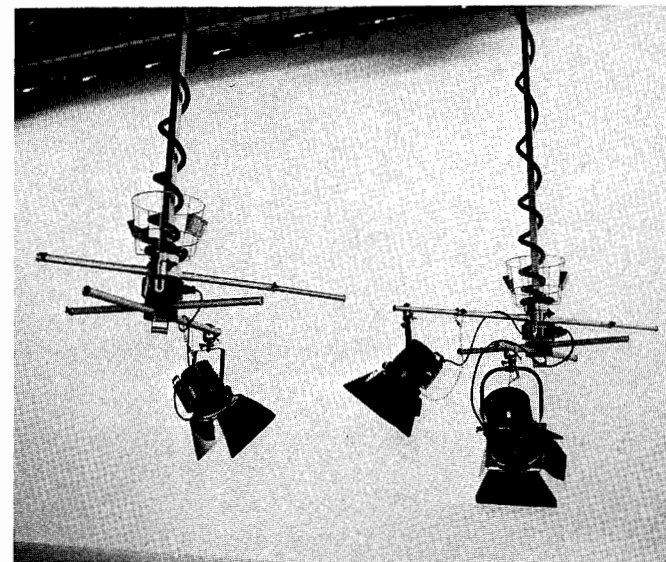


電子クロスバーラック



サイリスター調光器盤

1点吊りクロスバトン

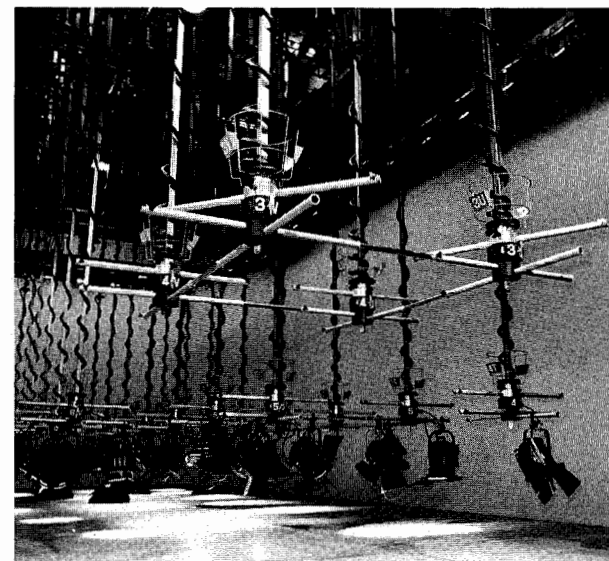


すでに毎日放送では、Bスタジオに設置されている1点吊りクロスバトンに、新たにフリーバトンを加えた新型の1点吊りクロスバトンを設置しました。この1点吊りクロスバトンは、毎日放送技術スタッフと丸茂電機との協力によって開発されてきたもので、従来の1点吊り方式の欠点であった灯具の吊り下げ範囲の限界を拡げるために、昇降ポール下端に十字形バトンを設け最大5灯までの器具をとりつけられるようにしたことが大きな特長のひとつです。今回Dスタジオ用に設置されたクロスバトンは十字バトンの1段上にフリーバトンとして360°フリー回転するバトンを1本加えたものになっています。

1点吊りクロスバトン		77基
バトン間隔		1700%
クロスバトンの腕の長さ	上段	650%
	延長時	1090%
	下段	600%
	延長時	1200%
隣接バトンとの間隔		500%
昇降ストローク		5700%
耐荷重		80kg
電源負荷		30A 3回路

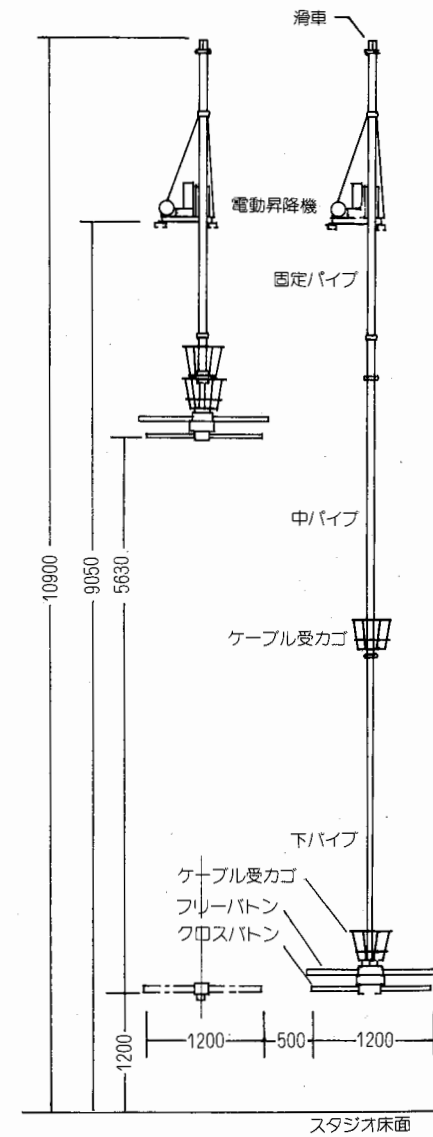
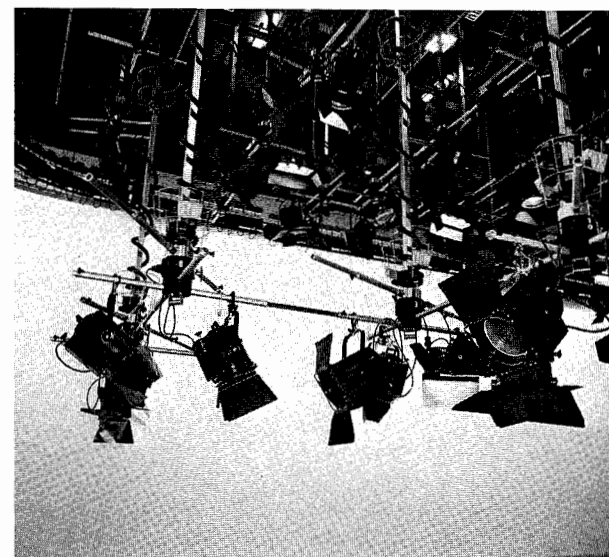
クロスバトンの連結使用

クロスバトンに内蔵した連結パイプによって各バトンは隣接するバトンと連結でき、器具の吊下げ範囲を拡げ、昇降装置の設置台数を削減できます。



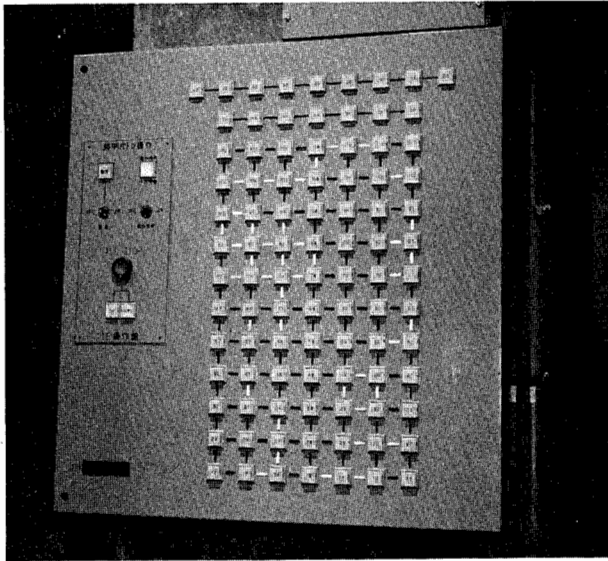
高低差をつけて使用

各バトンは任意に高低調整でき、1本だけ、あるいは連結状のままでも空間の自由な位置からの照明をつくることができます。

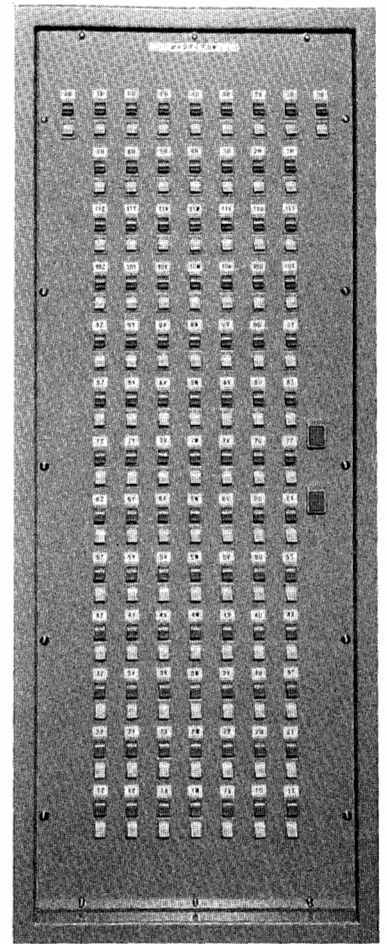


ボタン操作SW盤

接続されたクロスバトンの状況はスタジオ内と副調室入口の2カ所に設置された操作盤上で確認でき、個別制御ボタンの操作で複数台のボタンを連結昇降させることが出来ます。



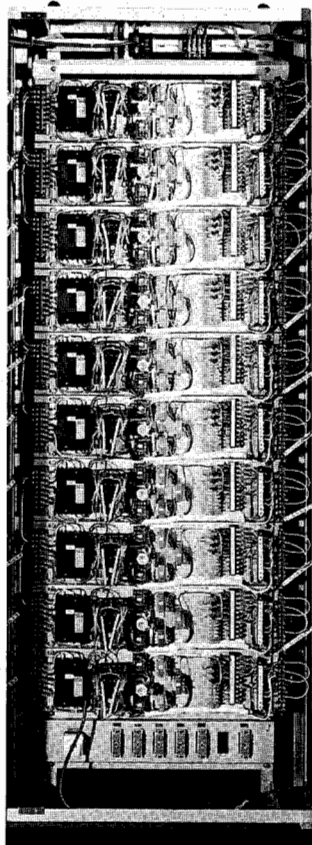
スタジオ内操作SW盤



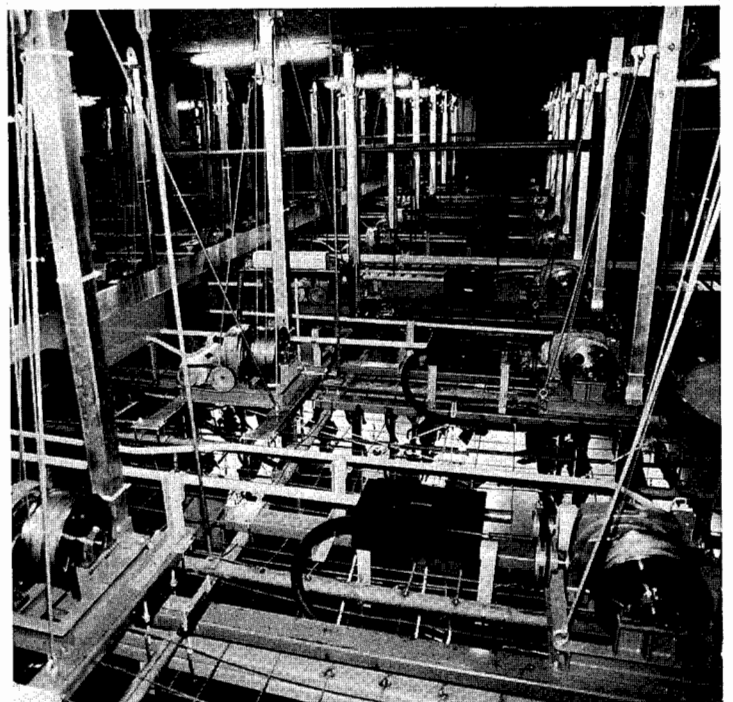
ボタン操作バックアップパネル

クロスバトンの操作はすべて電子回路によって作動しますが、万一故障の場合、強制的に手動で操作できるバックアップシステムをもっています。

吊物電動制御盤



吊物の電動昇降を作動させる信号発信用のMG・SWを1カ所にまとめスタジオ内壁面に収納してあります。従来は、この種のSWは、グリッドの各ボタン毎に設置してあったものでしたが、1括した制御盤としたことにより、操作、保守の面で能率向上から計られました。



グリッド上部



丸茂電機株式会社

◆本社・営業部◆

東京都千代田区神田須田町1-24 〒101

TEL (03) 252-0321(代表)

◆大阪出張所◆

大阪市北区野崎町9-6東梅田ビル8F 〒530

TEL (06) 312-1913・1922

◆名古屋出張所◆

名古屋市中区栄4丁目1-1(中日ビル内) 〒460

TEL (052) 261-1111(内線425)